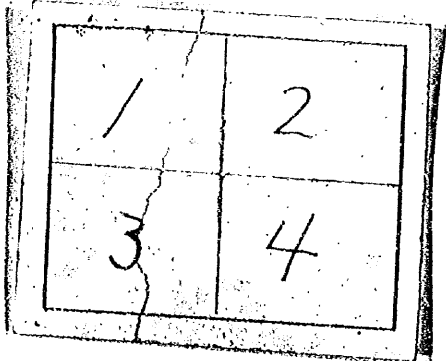


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1922
1923
1924
1925

場所
三

○

軍 部隊名

第一三八師團制毒隊

通稱號

不動三七二六一

郵便所名

全般概要

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

員入調編

別 隊

隊長名
()内は先代を示す
大尉 中路

開入
戦時

駐屯地

平時
戦時

戦時間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソ連の變動

入ソ連人員
隊別計

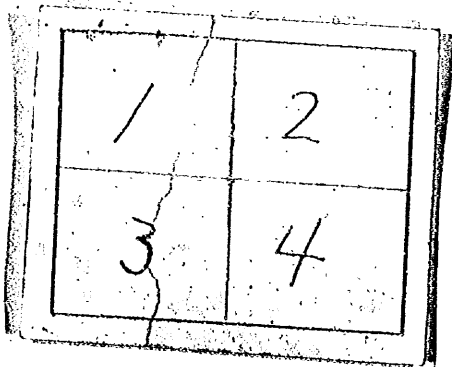
滿洲残留

取

	隊 員入組編
	別 隊
	隊長名 (内は先代を示す) 大尉 中略
	戦 闘 人 時 員
	駐 屯 地 平 時 戦 時
	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
	終 戦 後 の 人 員 変 動
	作 業 大 隊 以 前 入「ソ」迄の變動
	隊 員 入「ソ」人 員 計
	滿 洲 殘 留
	収 容 所 名 所 人 員 計
	死 亡 者 計
	滿 洲 以 外 領 土 以 外 領 土 人 員 計
	狀 況 不 明 者 数

部隊名 第一三八師團制毒隊 通稱號 不動三七二六一 郵便所名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1376
1377

所 属 三〇軍第一三八師團 部隊名 野砲兵第一三八聯隊(一)

通稱號 不動三七二六三

郵便所名

1378
1379

全般概要		轉入	轉出	人員編制		隊長名		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲殘留
別	隊	別	隊	別	隊	職	名	平時	戰時					
1923														
本	部	部	本	第一大隊本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林	吉林
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

二〇、七、二五、(編完) 在滿隊員者九〇ハ、一、セ、ニ、

二〇、八、一四、吉林方面 砲木に移動、終戦

二〇、八、二〇、撫順に集結

二〇、八、一九、在滿隊員者召募、約五〇〇名(但し八、五以後の召募者のみ)

二〇、九、一三、奉天四一大ハ二〇〇名編入

二〇、九、一五奉天遼東河經由入「ソ」

九九地區の一(第九中隊)

オマルネシ(第七中隊)

イルクイッ(第二中隊)

フカンダ(聯隊本部)

第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大第一	部本	員人制編	
						別隊	隊長名 (内は先代を不す 少佐 佐友 兵一)
同	右同	右同	右同	右同	右同	屯キ黄林吉	戦開人
							時員
同	右同	右同	右同	右同	右同	木雜南	戦開人
							時員
戦闘間の状況及損耗							終戦後の人員變動
作業大隊より 入ソ迄の變動							
隊別計							入ソ人員
滿洲残留							收容所名
カラカンダ第一 (聯隊本部)							收容所
イルクワツグ第五 (第二中隊)							死亡
サマルカシダ (第七中隊)							滿洲より領計
九九地區の一八 (第九中隊)							者数
							状況不明

隊名 野砲兵第一三八聯隊(一)

通稱號 不動三三二六三

郵便所名

二〇、七、二五、(皇) 三〇、七、二五、(皇) 三〇、七、二五、(皇)

二〇、八、一四、(皇) 三〇、八、一四、(皇) 三〇、八、一四、(皇)

二〇、八、二〇、(皇) 三〇、八、二〇、(皇) 三〇、八、二〇、(皇)

二〇、八、一九、(皇) 三〇、八、一九、(皇) 三〇、八、一九、(皇)

二〇、六、一三、(皇) 三〇、六、一三、(皇) 三〇、六、一三、(皇)

二〇、九、一五、(皇) 三〇、九、一五、(皇) 三〇、九、一五、(皇)

1923

部本隊大二第	列段隊大一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同

部本隊大二第	列段隊大一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同

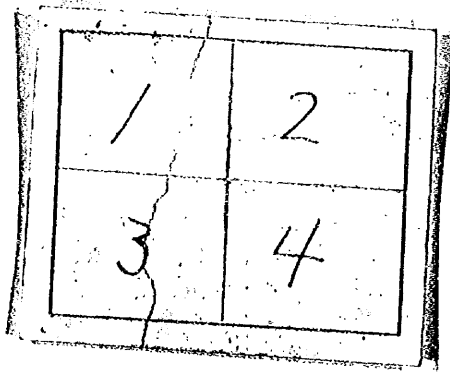
カラカンダ第一
(警隊本部)

イルクワック第五
(第二中隊)

サマルネシダ
(第七中隊)

九九地區の一八
(第九中隊)

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1380
1381
1382
1383

所 示

三〇章第一三八師團 部隊名 野砲兵第一三八聯隊(一)

通稱號

不動三七二六三

郵便所名

全般概要

轉入
轉出
十九年以降
十九年以降

員入割續

別 隊

隊長名
(内は兼代を示す)

開人
戦員

駐屯地
平時
戦時

戦斗間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

入「ソ」入員
隊別計

滿洲
留

本隊大三第	列段隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	別 隊
少佐 赤城千之助					(内は兼代を示す)
右 同	右 同	右 同	右 同	屯キ黄林吉	開人 戦員
右 同	右 同	右 同	右 同	木羅南	駐屯地 平時 戦時
					戦斗間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より 入「ソ」迄の變動
					入「ソ」入員 隊別計
					滿洲 留

九年以降

出

員人編

別隊

隊長名
(内は兼代を示す)

戦時

員

平時

戦時

時

駐屯地

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソシの變動

隊別

計

入ソシ人員

満洲残留

收容所名

收容所

員所人

死亡

満洲より

ソ領より

人員

計

者

状況不明

数

部隊名 野砲兵第一二三八聯隊(二)

通稱號

不動三七二六三

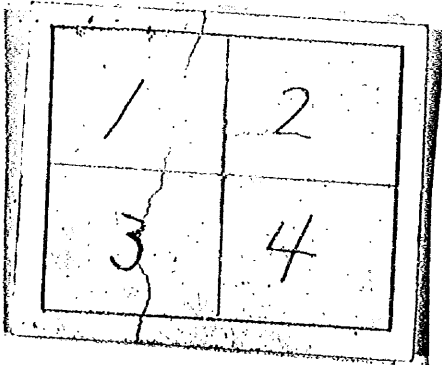
郵便所名

隊大第三	列段隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	別隊	隊長名 (内は兼代を示す)	戦時 員	平時 員	戦時 時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソシの變動	隊別 計	入ソシ人員	満洲残留	收容所名	收容所	員所人	死亡	満洲より	ソ領より	人員	計	者	状況不明	数
少佐 赤城千之助																											
右同	右同	右同	右同	右同						屯キ黄林吉																	
右同	右同	右同	右同	右同						木雜南																	

隊中七第	部本隊大三第	列段隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第
少尉 岡澤	少佐 赤城千之助				
約230					
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
奉天(大)					

隊中七第	部本隊大三第	列段隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第
少尉 岡澤	少佐 赤城千之助				
糸230					
右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同
奉天(大)					

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1384
1385

場所

三〇軍第一三八師團

部隊名

野砲兵第一三八聯隊(三)

通稱號

不動三七二六三

郵便所名

1386
1387

全般概要

轉入

轉出

異人編

隊別

隊長名
(内は先代を不)

戦時人員

駐屯地
平時
戦時

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソ返の變動

入ソ人員
隊別計

滿洲殘留

隊別

第八中隊

第九中隊

第三大隊

聯隊

吉林黄屯

南雜木

右同

右同

右同

右同

右同

右同

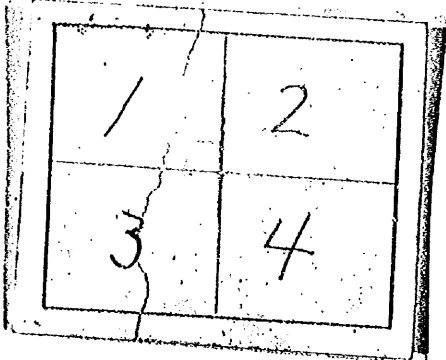
				員人編編
列 段 隊 聯	列 段 隊 大 三 第	隊 中 九 第	隊 中 八 第	別 隊
				隊長名 (内は先代を示す)
				戦開人 時員
	右 同	右 同	右 同	駐屯地 平 時 戦 時
	右 同	右 同	右 同	屯吉 賈 林 吉 木 維 南
				戦闘間の状況及損耗
				終戦後の人員變動
				作業大隊より 入ソノ迄の變動
				隊別 計
				入ソノ人員
				滿洲残留
				收 容 所
				收 容 所 名、 所 人
				死 亡
				滿洲より ソノ領 計
				歸還人員
				者 数 状況不明

部隊名 野砲兵第一三八聯隊(三) 通稱號 不動三七二六三 郵便所名

列段隊聯	列段隊大三第	隊中九第	隊守八第
	右同	右同	右同
	右同	右同	右同

	列 段 隊 聯	列 段 隊 大 三 第	隊 中 九 第	隊 守 八 第
	右 同	右 同	右 同	右 同
	右 同	右 同	右 同	右 同

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1388
1389

三〇軍第一三八師團 部隊名 工兵第一三八聯隊

通稱號 不動二七二六四

郵便所名

1390
1391

全設概要				轉入		轉出		人員編組	
二〇、七、一〇、編隊下合 二〇、七、三十一、於中隊中 深被毀完 二〇、八、一〇、撤隊を修 二〇、八、一六、在瀋陽石 子河附近、其時隊員、 現地砲台を中、砲台の窓を くりぬいて砲台を射撃せり 二〇〇名を留せり 二〇、八、一九、武解班順 武解班班中へ移動 二〇、九、一四、發砲者約 二〇〇名を天に射す 二〇、九、一七、奉天第四 一大隊入 二〇、九、一八、奉天被服 河經由入「ソ」				十九年以降 二〇、七、八 現者五〇〇		十九年以降 二〇、七、八 現者五〇〇		964	
別	隊	本	部	第一	第二	第三	中	中	中
隊長名 (内は先代を示す) 少佐 白濱長太郎				駐屯地		戰鬥間の狀況及損耗		終戦後の人員變動	
開人 職員 平 時 戰 時				吉 林 順 撫		同		同	
作業大隊より 入「ソ」迄の變動				入「ソ」人員 隊別計		滿洲残留			

カラカシダ

964				部	本	隊	別	隊
隊中三第	隊中二第	隊中一第						
若林							隊長名 (内は先代を示す) 少佐 白濱長太郎	
							關人 時員	
右同	右同	右同	右同	林吉			駐屯地 平時	
右同	右同	右同	右同	順善			戰時	
							戰鬥間の状況及損耗	
							終戦後の人員變動	
							作業大隊より 入ソ返の變動	
							隊別 計	入ソ人員
								滿洲殘留
				カラカシダ			收容所名 ウヤツカ	收容所
							所入 死亡	
							滿洲ソ領 より	歸還人員
							計	
							者 数	状況不明

部隊名 工兵第一三八聯隊
通稱號 不動三七二六四

郵便所名

二〇、廿、三十一、於時字中
二〇、八、一〇、廿、三十一

二〇、八、一〇、廿、三十一

二〇、八、一六、在該處各
各名號諸將、及諸將口、
其後諸將名、及諸將口、
に於り解散の理れたる者約
二〇〇名強き

二〇、八、一六、武解恭順
武解恭新地へ移動

二〇、九、一四、殘留者約
二〇〇名奉天に向ふ

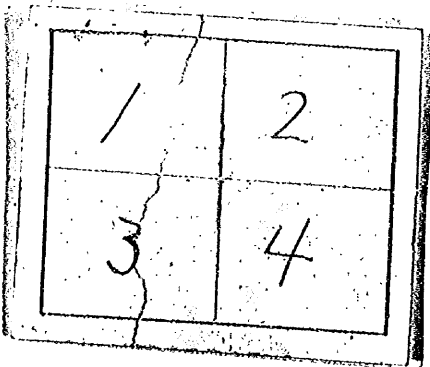
二〇、九、一七、奉天第四
一大隊入

二〇、九、一八、奉天發給
河津由入「ツ」

二〇、八、一〇、廿、三十一
二〇、八、一〇、廿、三十一
二〇、八、一〇、廿、三十一

部	第一隊中	第二隊中	第三隊中	器材小隊
			若林	
	右同	右同	右同	右同
	右同	右同	右同	右同

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1392
1393
1394
1395

全般概要						所屬	三〇軍第一三八師團	部隊名	歩兵第三七八聯隊(三)	通稱號	不動三七二五九	郵便所名										
轉入						轉出							人員副編	別隊	隊長名 (内は先代を不示す 竹内)	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 除別計	滿洲殘留
十九年以降						十九年以降																
人員副編						別隊	隊長名 (内は先代を不示す 竹内)	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 除別計	滿洲殘留								

部隊名 歩兵第三七八聯隊(二)

通稱號 不動三七二五九

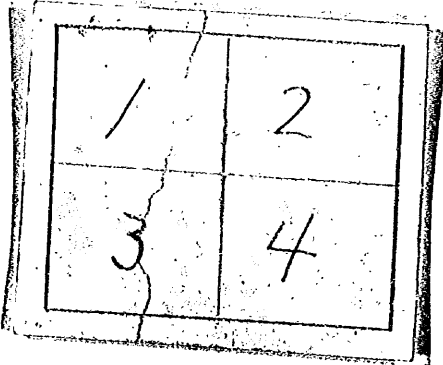
郵便所名

人員編					別	隊長名 (内は先代を示す)	駐屯地	戦斗間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソの變動	入ソ人員	満洲残留	收容所	歸ノ員	状況不明者数
中八第	隊中七第	部本隊大三第	李行隊大二第	隊中銃關機二第											
		宮原				竹内									
右同	右同	右同	右同	右同		石毛									
右同	右同	右同	右同	右同		順									

隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	奉行隊大二第	隊中筑前二第
				宮原	
右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同

隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	奉行隊大二第	隊中鏡調後二第
			宮原		
右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1396
1397
1398
1399

全般概要						編制人員	隊名	通稱	郵便所名
全般概要						編制人員	三〇軍第二三八師團 部隊名 歩兵第三七八聯隊(四)	通稱 不動三七二五九	郵便所名
轉入轉出 十九年以降						別除			
十九年以降						別除			
隊中通信	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩隊大三第	隊中銃開機三第	隊長名 (内は先代を不)	開入 人員			
同	右同	右同	右同	右同	石 磐	駐屯地			
同	右同	右同	右同	右同	順 撫	戦時			
戦時間の状況及損耗						戦後			
終戦後の人員變動						作業大隊より 入ソ連の變動			
入ソ連の變動						隊別計			
隊別計						滿洲殘留			
滿洲殘留						收			

部隊名 歩兵第三七八聯隊(四) 通稱號 不動三七二五九

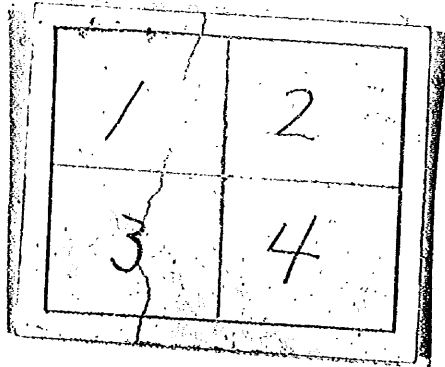
郵便所名

人員統編					別	隊
隊中通信	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩隊大三第	隊中銃關機三第	隊長名	(内は先代を示す)
					時員	個人
					平時	駐屯地
					戰時	戰時
					石 磐	
司	右 同	右 同	右 同	右 同	順 養	
司	右 同	右 同	右 同	右 同		
戰鬥間の状況及損耗						
終戦後の人員變動						
作業大隊より入ソノ迄の變動						
豫別						入ソノ人員
計						
滿洲殘留						
收容所名						收容所
人員						人員
死亡						死亡
滿洲より						滿洲より
ソノ領						ソノ領
計						計
者						狀況不明
数						数

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲兵步	李行隊大三第	隊小砲兵步隊大三第	隊中銃騎機三第
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩隊大三第	隊中銃騎三第
右同	右同	右同	右同	右同	右同	
右同	右同	右同	右同	右同	右同	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1400
1401

三〇軍第一三八師團

部隊名

歩兵第三七九聯隊(一)

通稱號

不動三七二六〇

郵便所名

1402
1403

全般概要

二〇、七、一〇、駐屯
二〇、七、三二、駐屯
官約八〇名を基幹として吉
林に於て編成
主力は朝陽鐵道に入、二
道奉天に移駐、各地にて終
戦八、一九、進取に基幹す
別動隊人員約一四〇〇名
進取と共に在滿隊召巻約一
〇〇〇名召巻す
自二〇、八、二〇、至三〇
八、二五、同
進取朝日小学校に於て武解
隊奉天北陵收容所に移送さ
れ竹葉五六大隊(主力)同
五七大隊(二部)に編入さ
れ九、一六(主力)一〇、
八(一部)出發入「ソ」す

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

員人別編
別 隊

隊長名
()内は先代を示す
少佐 加藤 恒平

駐屯地
平 時
戰 時
戰時人員
戰時員

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

隊別
計

滿洲
残留

3409

三 策	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大 一 第	部 本	大尉 西堀 啓作	少佐 加藤 恒平	鐵陽朝	木羅南	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	隊別 計	滿洲 残留
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同									
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同									

スコリスカキ

イルクーツク
マルタ(第一中隊)

イムクーツク(八
聯隊本部)

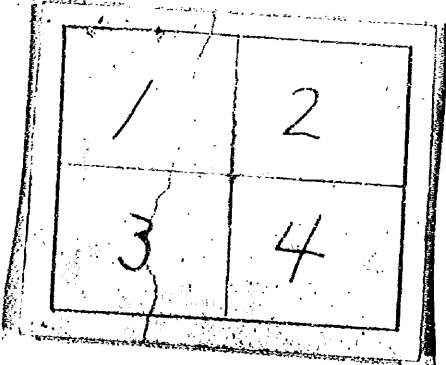
隊名 歩兵第三七九聯隊(一)

通稱號 不動三七二六〇

郵便所名

三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大 二 第	部 本	別 隊
				大尉 西堀 啓作	隊長 名 (内は先代を不示す) 少佐 加藤 恒平
					職 務 隊員
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	駐 屯 地 平時 戦時
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	朝陽鎮 南苑木
戦闘間の状況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より 入「ソ」迄の變動					
入「ソ」人員 隊別 計					
満洲残留					
収 容 所 名					
イラク・ソック 聯隊本部					
イルク・ソック マルタ(第一中隊)					
スゴリス・カヤ					
所 入 死 亡					
満洲「ソ」領 より 計					
歸 還 人 員					
状 況 不 明 者 数					

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1404
1405
1406
1407

						全般概要	属所
						轉入 十九年以降	三〇軍第一三八師團
						轉出 十九年以降	
						員人別編	部隊名
第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩隊大一第	別隊	
						()内は先代を示す	通稱號
						戰時 人員	
右同	右同	右同	右同	右同	右同	駐屯地	郵便所名
右同	右同	右同	右同	右同	右同	歿陽朝 木雜南	
						戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動
						作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
						隊別 計	入「ソ」人員
						滿洲殘留	

員人編編

部隊名 歩兵第三七九聯隊 (二)

通稱號 不動三七二六〇

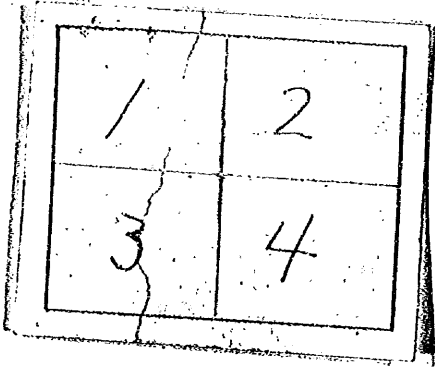
郵便所名

第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	奉行隊大一第	隊小砲兵歩隊大一第	別 隊
						隊長名 (内は先代を示す)
						戦時人員
同	右同	右同	右同	右同	右同	駐屯地 平 時 戦 時
同	右同	右同	右同	右同	右同	鎮陽朝 木雜南
戦闘間の状況及損耗						
終戦後の人員變動						
作業大隊より 入ソノ迄の變動						
隊別 計						
入ソノ人員						
滿洲殘留						
收容所名						
收容所						
死亡						
滿洲より ソノ領						
計						
者 数						
状況不明						

隊小砲兵歩隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩隊六一第
右同	右同	右同	右同	右同	右同	隊小砲兵
右同	右同	右同	右同	右同	右同	隊小砲兵

隊小砲兵歩隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	奉行隊大一第	隊小砲兵歩隊六一第
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	儀隊
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	六雜

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1408
1409
1410

					全般概要	場所
					轉入 十九年以降	三〇軍第二三八師團 部隊名 歩兵第三七九聯隊(三)
					轉出 十九年以降	
					要人組織	通稱號 不動三七二六〇
中八第	隊中七第	部本隊大三第	奉行隊大三第	隊中銃網機二第	別隊	
					隊長名 (内は先代を示す)	
					戰時 人員	駐屯地
					平時	
右同	右同	右同	右同	右同	鏡陽坊	戦闘間の状況及損耗
右同	右同	右同	右同	右同	木羅南	
					終戦後の人員變動	入ソノ人員
					作業大隊より 入ソノ迄の變動	
					豫別計	滿洲殘留
					收	

第八							第七		第三大隊本部		第二大隊行		第二聯隊中隊		別		隊	
															隊長名 (内は先代を示す)			
															駐屯地		戦時	
右同							右同		右同		右同		右同		鏡陽朝		平時	
右同							右同		右同		右同		右同		木羅南		戦時	
戦闘間の状況及損耗																		
終戦後の人員變動																		
作業大隊より入ソノ迄の變動																		
入ソノ人員																		
滿洲残留																		
收容所名																		
入所																		
死亡																		
滿洲より領																		
計																		
者数																		
状況不明																		

部隊名 歩兵第三七九聯隊(三)

通稱號 不動三三二六〇

郵便所名

隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	孝行隊大二第	隊中銃器機二第
右同	右同	右同	右同	右同	隊中銃器機二第
右同	右同	右同	右同	右同	六第

隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	季行隊大二第	隊中銃砲二第	
右同	右同	右同	右同	右同	右同	銃砲
右同	右同	右同	右同	右同	右同	木箱